



2016 年 4 月 20 日

## プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人 子供の家 あすなろ荘

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

ホーム入居児体験プロジェクト

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ここ数年の施設より自宅から来ている児童が増加、10代半ばでやっとホームにたどり着いた子が多いので、就労というスタート時点につくのに時間がかかり掛かる。朝起きて夜寝るといった基本的な生活が送れない、衣食住への保障さえも奪われてきた寮生にとって就労、自立という現実の壁はとても高く、自分から率先して仕事を見つけ出し、続けることができるまでは数か月から数年と言った時間がかかっているのが現状である。こういった状況で、予算上、ある程度は自己負担を伴う宿泊行事には経済的な理由により諦めざるを得ない。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

行事を行う上で寮生6人がそれぞれのスケジュールの中で日時を合わせ、行き先、宿泊施設、出発時間等と1つの目標を達成するためお互いを配慮し、調節していく努力が必要でそれは自律性と社会性を同時に身に付けるチャンスでもある。実施した行事は一日行事と宿泊行事である。一回目は10月6日に近くにある大型ショッピングモールでの映画鑑賞を行い、二回目は2月8日～9日にかけて山梨県の富士急ハイランドを体験後、近くのホテルで泊まる。後日はフジヤマミュージアムで富士山の題材にした絵を鑑賞後、粘土でオリジナルフォーク作りを体験し、富岳風穴を見学する。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

行事に関わる経費に関してはホームで負担することを前もって伝えることで金銭的な負担から参加意欲が消極的になってしまうことがないように心がける。日程に関してはなるべく、寮生同士の休みが重なる曜日を決めて実施するように配慮する。いくつかのプランを用意し、事前に希望を把握する。把握した内容を含めて事前に予定を組み、その内容を相談室に掲示しておく。まず、金銭的な負担の軽減から積極的に参加できたこと、日程、内容に掲示したことで想定外の出来事にも余裕を持って大きなトラブルなく、楽しめることができたと思う。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

全員、仕事をしている立場にあるため、それぞれの予定を合わせることで大変さ、各自の体調管理の不十分さから夏の宿泊行事はできず、急きょ一日行事に変更するハプニングもあったが、それを含めて全てがいつか同じメンバーがまた集まった時には語れる材料になったと思う。同じ思い出を持ち、いつでもその思い出を振り返ることができる関係、空間はとても大事だと思う。今後、彼らが自立してその思い出を辿ってどんな時でも遊びに来られるつながりが持てることを期待する。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



